

令和4年度における各PCB処理事業の進捗状況について

1. 概況

令和4年度のPCB処理事業は順調に進行した。令和4年度末の進捗率は、変圧器類(台)でほぼ100%(未処理1台。対前年度末0.3ポイント増)、コンデンサー類(台)で99.6%(対前年度末1.6ポイント増)、PCB油(t)で98.8%(対前年度末2.9ポイント増)、安定器・その他汚染物(t)で88.6%(対前年度末9.6ポイント増)となった。

処理対象については、前年度末から変圧器類では25台の増、コンデンサー類では2,578台の増、安定器・その他汚染物では171tの減となっている。進捗率は、処理の進捗だけでなく、新規登録や取り下げ等による処理対象の台数・重量の増減によっても変化することに留意する必要がある。

(1) 北九州PCB処理事業

変圧器類・コンデンサー類等については、平成30年度末で処理を終了した。

安定器・その他汚染物についての進捗率は96.1%となっており、令和4年度は北九州事業エリア分20t、大阪事業エリア分360t、豊田事業エリア分404tの処理を進めた。

(2) 豊田PCB処理事業

令和5年1月から北九州事業エリア(中国、四国地方)の変圧器類・コンデンサー類の受け入れを行い、処理を進めている。令和4年度末の進捗率は変圧器類が100%、コンデンサー類が99.6%となっている。

(3) 東京PCB処理事業

令和4年度末の進捗率は変圧器類が100%、コンデンサー類が99.3%となっている。

また、全国の約6割を占めるPCB油の処理もほぼ全て完了した(進捗率99.999%)。

(4) 大阪PCB処理事業

令和4年10月から北九州事業エリア(九州地方)の変圧器類・コンデンサー類の受け入れを行い、処理を進めている。令和4年度末の進捗率は変圧器類が100%、コンデンサー類が99.9%となっている。

(5) 北海道PCB処理事業

令和4年度末の進捗率は変圧器類がほぼ100%(未処理1台(令和5年1月に新たに登録))、コンデンサー類が99.0%、安定器・その他汚染物が82.1%となっている。

安定器・その他汚染物については、令和4年度は北海道事業エリア分393t、東京事業エリア分950tの処理を進めた。

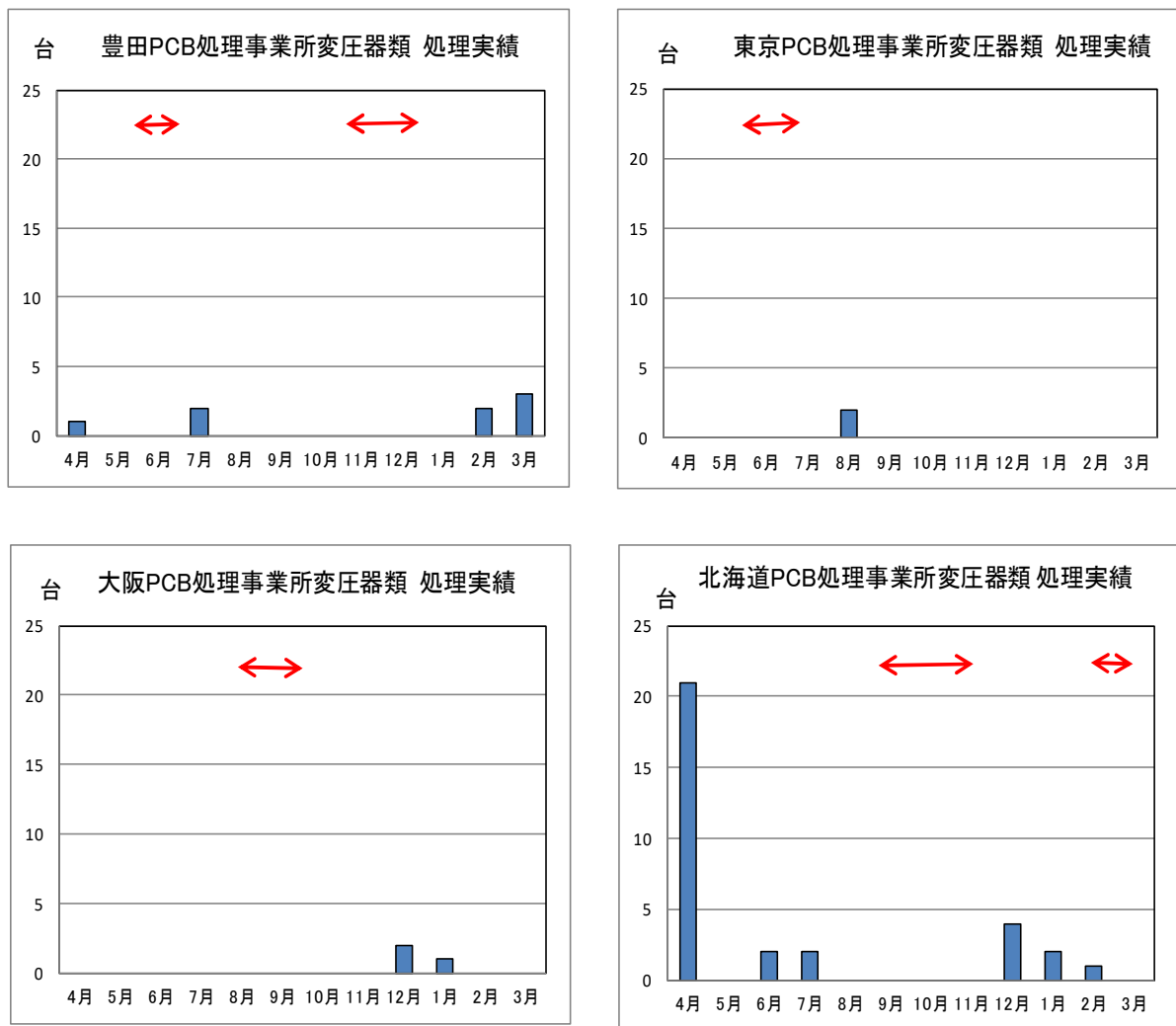
2. 処理実績

令和4年度に、5事業合計で、変圧器類を45台、コンデンサー類を6,237台、PCB油類を1,239本、安定器・その他汚染物を2,127t処理した。

試運転開始後これまでの処理量の合計は、変圧器類16,033台、コンデンサー類377,357台、PCB油類28,833本、安定器・その他汚染物19,687tである。

各PCB処理事業の令和4年度月別処理実績を図1に示す。

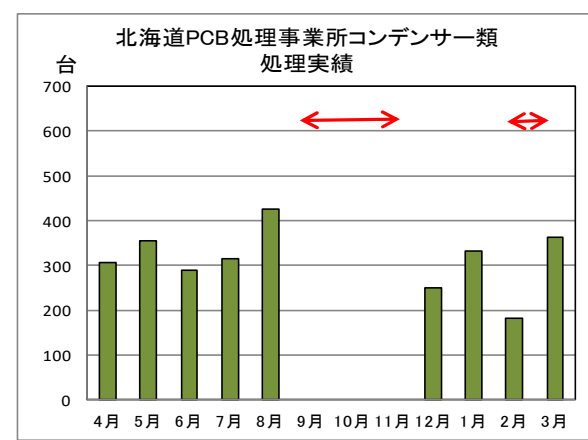
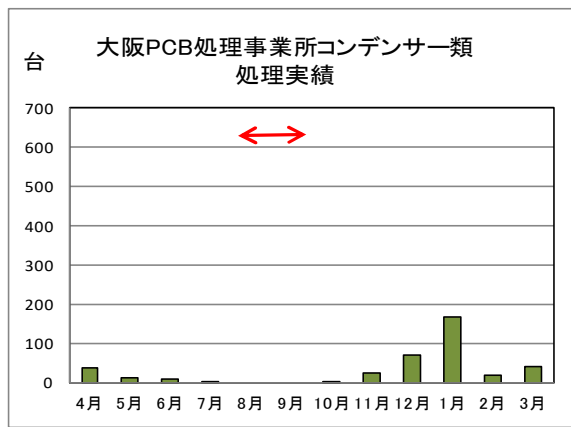
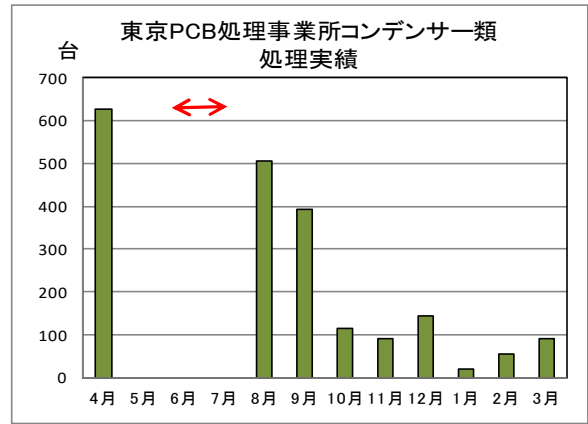
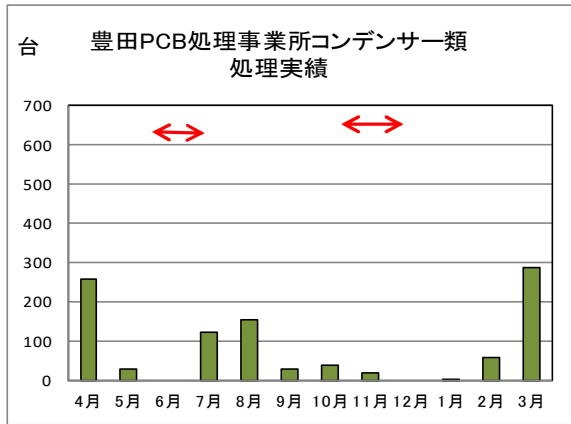
○変圧器類



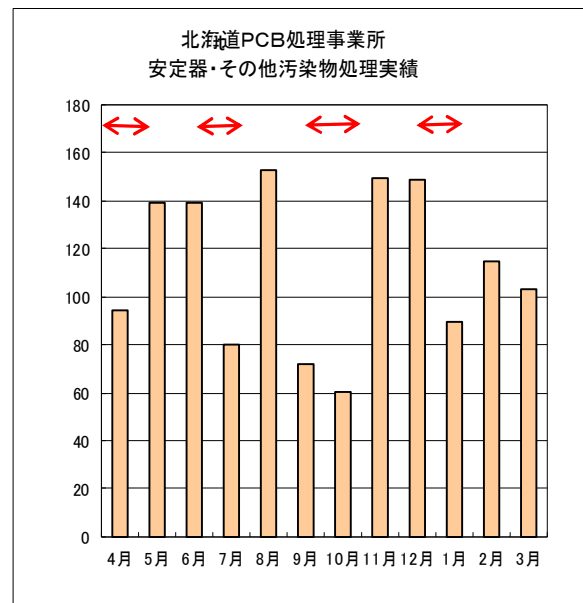
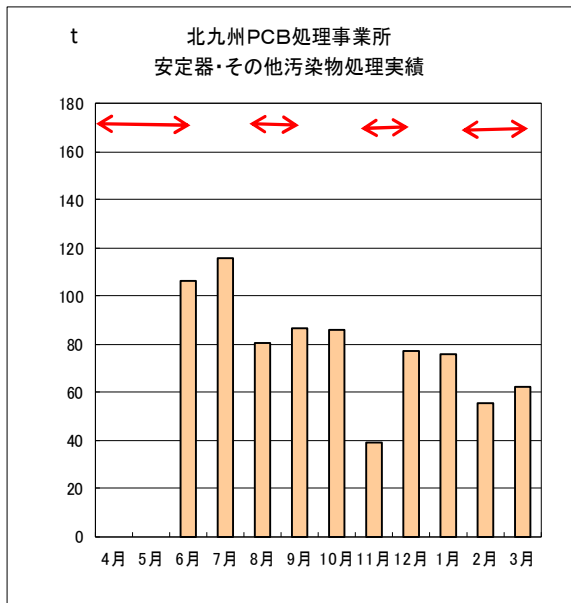
↔: 定期点検等

図1 令和4年度月別処理実績

○ コンデンサー類



○ 安定器・その他汚染物（北九州事業所、北海道事業所）



↔: 定期点検等

図1 令和4年度月別処理実績（続き）